

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No.040-010

PDCA	事務事業名	市民交流センター管理運営事業	部課等名	企画部 市民協働課 市民交流センター担当	担当 内線等	鈴木 32-3430	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第1章 協働によりともに高め合うまち					
		節： 第1節 協働のまちづくりの推進					
		基本施策： 3. ボランティア・市民活動支援					
		単位施策： (2) ボランティア・市民活動支援体制の充実					
	根拠法令等	半田市市民活動支援センター管理規則					
	対象・目的	ボランティア、市民活動の総合窓口である「はんだまちづくりひろば」と駅前という好立地を活かした貸館の「市民交流プラザ」、地域全体で子育てを支援する拠点としての「子育て支援センター」などの総合施設として、市民から親しまれ、活気あるまちづくりの拠点を目指す。					
	目的を達成するための手段・活動内容	ボランティア・市民活動の情報発信・交流の場としての機能を充実し、市民活動団体等の市民活動支援センターの活用を推進する。また、市民等が利用しやすい環境の維持及び整備に努めるとともに、様々な広報媒体を活用し、施設利用を啓発する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①センター開設日数	347	346	347	日	
		②ホール・ミーティングルーム使用件数	1,719	1,589	1,606	件	
		③市民活動支援センター使用件数	2,774	2,882	2,824	件	
		事業費	43,691	45,287	45,638	千円	
		人件費	8,577	8,566	8,687	千円	
		総事業費	52,268	53,853	54,325	千円	
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①管理運営コスト(開設日1日当たり)	150,628	155,645	156,556	円		
	②						
	③						
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①市民交流センター内貸室利用率	実績値	61.6	61.6	60.9	%
			目標値	65.0	65.0	65.0	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地		ある
	事業の評価・課題	C					
		市民交流センター施設利用について、まちづくりひろばfacebookや情報紙「かつどん」等で施設の利便性を伝え幅広い啓発に努めた。また、市民交流センターで開催するイベントにおいて、1階フロアを活用した内容を企画することで建物の回遊率の向上に努めた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
		市民交流センターでイベント等を行い、市民に親しまれる施設としての周知と駅前の賑わい創出に努める。また、施設の利用案内やイベント情報などの情報を利用者に適確に届けるため、デジタルサイネージを設置し、施設の利便性の向上及び情報発信機能の拡充を図る。					
		令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位		
			①市民交流センター内貸室利用率	70.0	%		